

～目黒のサクラ再生計画～

目黒のサクラ基金を活用して、サクラ保全事業を行っています

目黒区内には約2,300本のサクラがあります。そのうち公園、緑道、街路樹のサクラでは、約1,000本が今後10年でソメイヨシノの寿命といわれる樹齢60年となります。目黒のサクラ保全事業は、その約1,000本について樹木医による樹木診断を行い、倒木の危険のあるサクラを抽出し、サクラの伐採とサクラ再生計画の作成、サクラの植替え・保護を行うものです。

樹木診断には3つの診断があります



1
初期診断

… 倒木の危険性が高く処置の必要な樹木を迅速に発見する。また、より専門的な診断が必要な樹木を抽出する

2
外観診断

… 初期診断で抽出された樹木について根元、幹、枝ごとにより詳しく診断して1本1本について維持管理の基礎となるカルテを作成するとともに、精密診断が必要な樹木を抽出する

3
精密診断

… 外観診断で抽出された樹木について樹木診断機器を使って外観ではわからない内部の空洞の状況を把握する

目黒のサクラ再生計画のスケジュール

第1ステップ

街路樹などのサクラで落枝・倒木の危険のあるサクラを抽出して伐採・剪定し、まずは道路の安全確保を図っています

- 平成27年度 道路緑地のすべてのサクラ(1,015本)の初期診断



外観診断191本



精密診断94本



危険木の伐採27本



第2ステップ

平成27年度の樹木診断の結果から、老朽化の進んでいる並木の再生について、区民の皆様の意見をお聞きしながらサクラ再生計画を進めます

- 平成28年度 樹木診断の結果、老朽化の進んでいた3路線(田向円融寺通り、碑さくら通り、碑文谷五丁目緑地)のサクラ再生計画策定
- 平成30年度 サクラの植え替え着手予定



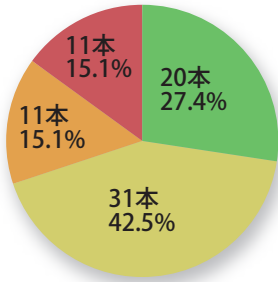
第2回検討会に向けて、みどりと公園課では、桜並木の景観をどのように誘導するか、品種選定、植栽方法、維持管理方法について案を作成しています。

お知らせ：第2回検討会 平成28年10月7日(金) 18:30～ 碑住区センター

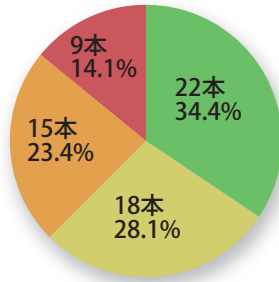
● サクラの外観診断・精密診断結果 ●

診断の判定
 ● 健全
 ● 注意すべき被害
 ● 著しい被害
 ● 不健全

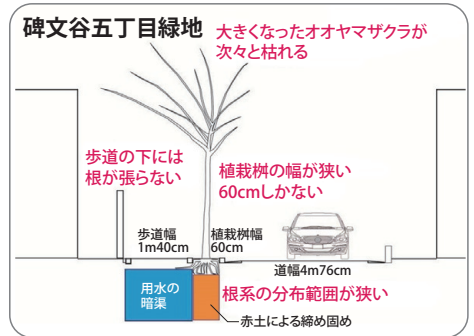
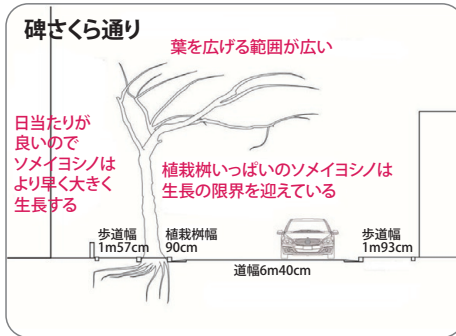
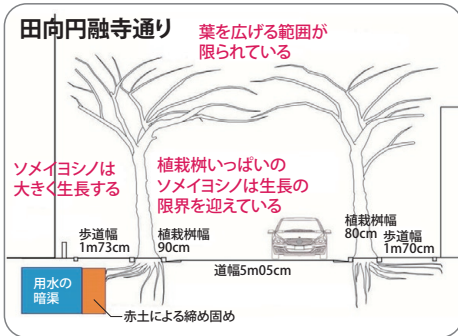
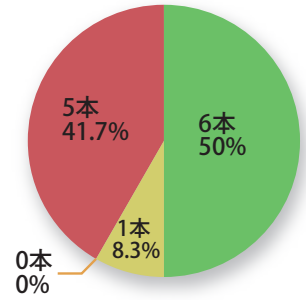
田向円融寺通り



碑さくら通り



碑文谷五丁目緑地



<今後の課題>

- 既存木の点検・診断・処置
- 補植樹の育成
- 今後植栽していく樹種および植栽間隔の検討

<今後の課題>

- 既存木の点検・診断・処置
- 補植樹の育成
- 今後植栽していく樹種の検討

<今後の課題>

- 既存木の点検・診断・処置
- 補植樹の育成
- 今後植栽していく樹種の検討
- 土壌改良の方法の検討

区民のご意見をお聞きするため、検討会を行いました。

(8月4日(木) 18:30~20:00 碑住区センター)

サクラ並木を大切に思い、将来にわたってサクラ並木を保全したいと、熱心に検討していただきました。

<主な意見>

- 並木景観
 - ・ソメイヨシノなど1品種で統一された並木がよい
 - ・危険で伐採したソメイヨシノの後には、樹高や枝張りの小さい品種(天の川など)がよい
- サクラの品種
 - ・ソメイヨシノがよい
 - ・樹高や枝張りの小さい品種(天の川など)がよい
- 区民参加の維持管理
 - ・現在は、並木沿道の住民が、春のサクラを楽しみにして、自発的に、年中落ち葉清掃などを行っている
 - ・サクラに樹木番号ラベルをつける
 - ・学校前のサクラは児童生徒にも見守ってもらう
 - ・桜守り活動について検討する

